

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2022年3月下旬刊行

# 「下から」歴史像を再考する

—全体性構築のための東アジア近現代史—

伊藤俊介・小川原宏幸・愼蒼宇 編

A5判・ハードカバー・430ページ 本体価格 8,600円

BLACK LIVES MATTER 運動はじめ、今まさに世界中で「下から」の告発・実践が立ち現れる時代を私たちは生きている。そのような中、「変革」の歴史学は「下から」の契機なしには成立し得ない！

歴史のなかで抑圧され、ないものとされ、とらえにくくなった不可視の存在や小さい声に目を向け、耳を傾け、発掘し、そして全体へと繋げていく歴史学へ。

【目次】※サブタイトルは省略

はじめに：愼蒼宇・伊藤俊介

第一部 政治文化・民衆文化・民衆運動（一 一八六六年丙寅洋擾における倡義活動と地域社会：久留島哲／二 近代移行期における民乱の政治文化：趙景達／三 「施される」者たち：村田遼平／四 近代日本における都市民衆運動の胎動：藤田貴士／五 米騒動と女性仲仕集団：大川啓／六 日韓連帯の民衆運動：長澤淑夫）

第二部 近代化・植民地支配・戦争と民衆（一 西路電線の架設と維持をめぐる朝鮮社会の反応：中村祐也／二 「不穩」から「騒擾」への予兆：愼蒼宇／三 植民地朝鮮における「精神病」：韓梨恵／四 植民地台湾における「旧慣尊重」政策の側面：内津マリノ／五 東京における関東大震災時の朝鮮人虐殺と流言：田中正敬／六 ソ連における日本人抑留者の郵便葉書に関する基礎的研究：山口隆行）

第三部 民衆像・他者像への接近（一 宮崎滔天の浪花節：青木然／二 川上音二郎の描いた日清戦争：伊藤俊介／三 宮武外骨と伊藤博文「暗殺」事件：野村美和／四 「スキャンダル」から見る差別・断絶の時代：雨宮史樹／五 植民地朝鮮における地域社会の秩序意識と民衆暴力：小川原宏幸）

あとがき：小川原宏幸

〈編者紹介〉伊藤俊介（いとう しゅんすけ）：福島大学教授、小川原宏幸（おがわら ひろゆき）：同志社大学教授、愼蒼宇（しん ちゃんう）：法政大学教授

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	「下から」歴史像を再考する —全体性構築のための東アジア近現代史— 伊藤俊介・小川原宏幸・愼蒼宇 編	アジア史(近現代)
	ご担当	A5判・ハードカバー、430ページ 本体価格 8,600円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN 978-4-908672-55-2 C3020	

ご注文は (株)JRCへ

FAX: 03-3294-2177

電話: 03-5283-2230

返品条件付注文です。